

# TOPICS



## 第11回日本 - ボリビア 国際消化器シンポジウム

特定非営利活動法人 日本 - ボリビア医療友好協会 理事長  
国際医療福祉大学臨床医学研究センター 教授・山王メディカルセンター 森下 鉄夫

昨年（2012年）11月1日～3日南米ボリビアのスクレで、第11回日本 - ボリビア国際消化器シンポジウム（XI Simposio Internacional Boliviano-Japones de Gastroenterologia）が開催されました。

スクレは最高裁判所などがある憲法上の首都で、その美しい町並みからユネスコにより世界遺産（文化遺産）に登録されています（写真1）。

日本からは慶應義塾大学、東京女子医科大学、千葉大学、新潟大学、東邦大学、東京医科大学、福島県立医科大学、東京歯科大学、国際医療福祉大学より20名の先生方が参加されました（写真2）。食道癌、胃癌、大腸癌、ESD（endoscopic submucosal dissection）、ウイルス・細菌性胃腸炎、腸管スピロヘータ症、シャーガス病、GALT（gut-associated lymphoid tissue）、門脈圧亢進症、乳癌、インフルエンザ、メタボリック症候群、癌患者の口腔ケア、癌支持療法、先天性股関節脱臼など各セッションでハイレベルな講演が行われました。

日本 - ボリビア医療友好協会<sup>1,2)</sup> および日本 - ボリビア国際消化器シンポジウム<sup>3,4)</sup> については、本

誌にても既に詳述しました。

今回のシンポジウムは、東邦大学医学部外科の故亀谷寿彦教授の許に留学されたDr. Roberto Munozがボリビア側会長を務められ、ボリビア - 日本医療友好協会（Asociacion Medica y Amistad Boliviano-Japonesa）の会長Dr. Akitoshi Kamiya（神谷明利）の全面的協力を得ました。Dr. Kamiyaは2002年～2005年に慶應義塾大学、昭和大学に留学されています。

シンポジウムは日本 - ボリビア消化器病学研究所（Instituto de Gastroenterologia Boliviano-Japonesa, Sucre）の消化器病センター（Centro de Gastroenterologia）（写真3）の会議場で行われました。この研究所・センターは1980年に日本の援助により建設され、33年後の現在でもボリビアの消化器病診療・教育・研究の中心施設の1つです。所長・センター長は大統領により任命されています。

ボリビア側による歓迎レセプションでは2時間弱にわたるフォルクローレ・民俗舞踊のショー、日本側の答礼レセプションでは茶道のお手前やボリビアの医学生への浴衣の着付けも披露されました。



写真1 スクレ市内



写真2 日本人参加者の方々

第1回から第11回シンポジウムまで延べ173名の日本人医師、1名の日本人看護師、3786名のボリビア人医師、295名の他国の医師、24名のボリビア人看護師が参加されました。第12回シンポジウムを2014年秋にやはりボリビアで予定しています。

私たちは本シンポジウムを消化器のみならず基礎・臨床医学の各領域さらに看護領域、コメディカル領域も含めた学際的学術集会へ発展させることを目指しています。これまで医化学、熱帯医学・寄生虫学、小児科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、腫瘍学、総合医学、歯科・口腔外科の先生方も御講演くださいました。今後も諸先生の御参加をお願い申し上げます。

なお、シンポジウムは英語・スペイン語・日本語で行われ、英語-スペイン語と日本語-スペイン語は逐次通訳されます。

日本をめぐる国際情勢は複雑ですが、私たちは医療・医学を通じた友好・協力を推進し、日本のソフトパワーのほんの一部にでもなれればと思っています。

御講演・御出席くださいました梶原哲郎先生、竜崇

正先生、堂元又巖先生、三浦左千夫先生、永田博司先生、唐澤直子先生、加藤博之先生、南里清一郎先生、山内智博先生、佐藤好信先生、中嶋均先生、小磯泰裕先生、五十畑則之先生、畠山征也先生、齋藤とし子先生、渡辺伸一郎先生、渡辺洋子先生、田島健三先生、佐々木広吉先生（順不同）に深謝申し上げます。

（特定非営利活動法人日本-ボリビア医療友好協会ホームページ <http://www.nippon-bolivia-iryu-yuuko.jp>）

#### 参考

- 1) 森下鉄夫：日本-ボリビア医療友好協会。W'Waves、9：26-27、2003.
- 2) Morishita T. : Non profit organization Japan-Bolivia association for medicine and friendship. W'Waves、14：102-103、2008.
- 3) 森下鉄夫：第9回日本-ボリビア消化器国際シンポジウムと第30回パンアメリカン消化器病学会特別シンポジウム。W'Waves、13：24-25、2007.
- 4) 森下鉄夫：第10記念回日本-ボリビア消化器国際シンポジウム。W'Waves、17：34-35、2011.



写真3 日本-ボリビア消化器病学研究所消化器病センター